

氏名	奥 野 恵 子
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3686号
学位授与の日付	平成14年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Cervical Carcinoma with Full-Thickness Stromal Invasion: Relationship Between Tumor Size on T2-Weighted Images and Parametrial Involvement (頸部間質の辺縁浸潤をきたした子宮頸癌:腫瘍サイズと傍組織 浸潤との関係)
論文審査委員	教授 公文 裕巳 教授 岡田 茂 教授 谷本 光音

学位論文内容の要旨

術前に MR を施行した子宮頸癌 90 例のうち子宮頸部間質の辺縁浸潤(以下 FTSI)をきたした子宮頸癌 33 例 45 側を対象に、腫瘍サイズと傍組織浸潤の関係について検討した。T2 強調像で腫瘍が最も大きく描出されている断面で、腫瘍の左右径、前後径、上下径を測定し、面積、体積を計算した。術後の病理診断で傍組織浸潤陽性群と陰性群に分け、長さ、面積、体積の値を比較した。また、各指標について傍組織浸潤を診断するのに最高の正診率となる診断基準を求めた。対象とした 33 例 45 側のうち、病理診断で傍組織浸潤が認められたのは 9 例 10 側で、陽性群と陰性群では長さ、面積、体積、いずれの指標においても統計学的有意差が認められた。正診率が最高となる診断基準と正診率は長さでは左右径(a) = 3.2cm(82%)、前後径(b) = 3.5cm(84%)、上下径(c) = 3.0cm(89%)、面積では $ab\pi/4=7.5\text{cm}^2(82\%)$ 、 $ac\pi/4=8.8\text{cm}^2(89\%)$ 、 $bc\pi/4=7.7\text{cm}^2(89\%)$ 、体積では $abc\pi/6=13.9\text{cm}^3(87\%)$ であった。

FTSI を示す子宮頸癌の傍組織浸潤の診断には腫瘍サイズが有用な指標となりうると考えられる。

論文審査結果の要旨

本研究は、子宮頸部間質の辺縁浸潤をきたした子宮頸癌における腫瘍のサイズと傍組織浸潤との関係を MRI で解析したものである。その結果、full-thickness stromal invasion を示す子宮頸癌の傍組織浸潤の診断には腫瘍サイズが有用な指標となりうることを明らかにした。子宮頸癌の MRI 診断における重要な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。